

# 日蓮大聖人御書全集

じゅうじゅうびばしやろんじんしゅつごしよ

十住毘婆沙論尋出御書

新版  
1641

じゆうじゆうびばしやろんじんしゅつごしよ

# 十住毘婆沙論尋出御書

しょうげんがんねん

正元元年('59)

がつ にち

10月14日

さい むさしこう

38歳 武蔵公

さくじつ

むさしのぜんじどの

つか

ねんぶつしやとう

め

昨日、武蔵前司殿の使いとして、念仏者等、召しあわせ

そうら

じゅうろう

つか

そうら

られて候いしなり。また十郎の使いにて候わんずるか。

じゆうじゆうびばしやろん

ないないみ

そうろう

ばんじ

なげう

たず

十住毘婆沙論を内々見るべきこと候。万事を抛つて尋

い たま そうら

ね出だし給い候え。

じゆうがつじゆうよつか

十月十四日

にちれん

かおう

日蓮

花押

むさしこうのこぼう

武蔵公御房

むさしこう

しよじょう

〈武蔵公からの書状〉

じゅうじゅうびばしやろんじゅうよんかんはいじょう

いまいつかん

もと

う

十住毘婆沙論十四卷拜上せしむ。今一卷は求め失

そうろう

ごよういご

そうそう

かえ

たま

そうろう

せ候なり。御要以後は、早々に返し給わるべく候。

ぐしん

かなら

かなら

まい

そうら

うけたまわ

そうろう

さくじつ

愚身も必ず必ず参り候いて承るべく候。昨日の

ろんだん

ごじゅうてんでん

ずいき

まこと

あ

がた

そうろう

論談へ五十展転の随喜、誠にもつて有り難く候。ま

はかましなたまわ

きょうきょうきんげん

た袴品賜るべし。あなかしこ、あなかしこ。恐々謹言。

じゅうがつじゅういちにち

十月十一日

判

はん

にちれんあじやりのごぼう

日蓮阿闍梨御房